



小・中・高校生・
高専生のための

日本科学教育学会
第30回年会記念企画



U-18 科学研究コンクール

主催：日本科学教育学会（JSSE） 共催：NPO 科学技術振興のための教育改革支援計画（SSISS）
後援：茨城県教育委員会、つくば市、つくば市教育委員会、土浦市教育委員会、牛久市教育委員会
協賛：社団法人日本化学会、中村理工工業株式会社、株式会社内田洋行

青少年の科学する心を育てるため、個人やグループで行っている科学研究（算数・数学、理科、技術、総合的な学習など）を発表する会を開催します。そして、着想やプロセスのよさに主眼を置いて助言・評価を行い、優れた研究については表彰を行います。

- 対象：小学生、中学生、高校生、高専生（18歳以下）の個人または団体
- 募集：科学（算数・数学、理科、技術、総合的な学習など）についての研究報告
※ 全国または県レベルで行われた発表会やコンテストで発表していないものに限ります。
- 審査：2段階で行います。（審査委員長：大木道則 JSSE 元会長・SSISS 理事長・東京大学名誉教授）

【第1次審査（書類審査）】

1. 2006年6月12日（月）～30日（金）に、以下に示す応募書類（応募用紙と研究概要）を、コンクール事務局へ郵送または電子メールで提出してください。
 - ① 応募用紙（ホームページからダウンロードしてください）
 - ② 研究概要（研究の内容を600～1200字程度で簡潔にまとめたレポートです。ワープロの場合はA4版用紙1枚、手書きの場合は原稿用紙3枚以内で書いてください。）提出先：〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部
稲垣成哲研究室 U18 コンクール事務局（電子メール：inagakis@kobe-u.ac.jp）
2. 研究概要の内容に基づいて審査を行い、第2次審査を受けていただく研究を15件ほど選びます。審査結果の通知は7月10日（月）頃にメール及び郵送で行います。

【第2次審査（発表による審査）】

- 日 程：2006年8月18日（金） 発表 12:00～14:30、表彰式 16:30～17:00
会 場：筑波学院大学（茨城県つくば市吾妻3-1）
発表の方法：ポスター発表。研究内容をポスター1枚（80×110cm程度の模造紙サイズ）にまとめたものを掲示し、その前で15分間ほど説明していただきます。
評価の観点：研究内容、応募書類の研究概要、発表（ポスターとプレゼンテーション）などを総合的に評価します。研究内容については、成果よりも着想やプロセス（研究の進め方や考え方）のよさを重視して評価します。
表 彰：優れた研究に対して、最優秀賞、優秀賞、奨励賞などの賞を授与します。一部の賞については副賞も用意する予定です。
そ の 他：旅費は支給しませんので自費で会場へ来てください。

- ホームページ：<http://jsse30.tsukuba-g.ac.jp/wiki.cgi/U18>
- 問い合わせ先：同志社女子大学 余田（電子メール：yoden@myad.jp）



U-18 科学研究コンクール応募用紙

※校種、種別、研究分野については該当する項目の□を塗りつぶして■にして下さい。

校種： <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 高専（18歳まで）	
種別： <input type="checkbox"/> 個人研究 <input type="checkbox"/> グループ研究 グループ名： _____ (人数： _____ 名)	
応募者	学校名： _____ 都道府県名： _____
	フリガナ： _____ (学年： _____ 年)
	氏名： _____ (年齢： _____ 歳) ※グループ研究の場合は代表者の氏名を記入して下さい。
指導者	氏名： _____ 所属または応募者との関係： _____ ※指導された先生がいらっしゃる場合は記入して下さい。
	氏名： _____ ※連絡先は応募者本人でなく他の方（例えば学校の先生）でもかまいません。
連絡先	住所： 〒 _____
	電話： (_____) FAX： (_____) ※FAXが使える場合は記入して下さい。
	メールアドレス： _____ ※Eメールが使える場合は記入して下さい。

研究テーマ：
研究分野： <input type="checkbox"/> 算数 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 生物 <input type="checkbox"/> 地学 <input type="checkbox"/> 情報 <input type="checkbox"/> 工作 <input type="checkbox"/> 複合分野（環境やエネルギーなど）・その他

※応募用紙に記載された個人情報は事務連絡でのみ使用します。

研究テーマ

筑波太郎、土浦春子、牛久二郎、茨城夏子

〇〇市立△△小学校 □□□クラブ

1. 研究の動機 （100字程度）

この研究を始めた理由、きっかけとなった出来事、特に興味を持った点などを書く。

2. 研究の目的 （100字程度）

この研究で何をどこまで調べよう・確かめようと思ったかを書く。

3. 研究の方法 （300字程度）

どのような方法・手順で研究したかを書く。実験・観察の場合には、用いた材料、動物や植物の名前、装置や器具、条件（温度、場所、天候、時刻など）などの説明も必要に応じて書く。

4. 研究の結果 （300字程度）

研究で得られた結果をわかりやすくまとめて書く。結果についての考えは次の項で書くので、ここでは事実だけを書く。表や図を用いてもよい。

5. 考察 （100字程度）

研究の結果からわかったことや考えられることを書く。はじめの目的から見てどうだったか、研究方法や結果の問題点、今後の研究についてなども必要に応じて書く。

※ 原稿用紙に書く場合は、以上の内容を横書きで書いてください。縦書きの原稿用紙を横にして横書きしてもかまいません。400字詰め原稿用紙3枚以内でまとめてください。

研究テーマ

筑波太郎、土浦春子、牛久二郎、茨城夏子

〇〇市立△△中学校 □□□部

1. 研究の動機 （100字程度）

研究を始めるきっかけとなったエピソード、着眼点、問題意識などを書く。

2. 研究の目的 （100字程度）

【実験・観察の場合】テーマについての自分の考え・予想（仮説）を書く。そして、実験・観察で何をどこまで確かめよう・調べようとしたか書く。

【問題解決やシステム開発の場合】どのような問題をどのようなアイデアで解決しようとしたか書く。

3. 研究の方法 （300字程度）

【実験・観察の場合】実験・観察の方法・手順を書く。材料、装置や器具、条件（温度、場所、天候、時刻など）などの説明も必要に応じて書く。

【問題解決やシステム開発の場合】問題解決やシステム開発の方法・手順を書く。文章で表しづらいときは図示してもよい。

4. 研究の結果 （300字程度）

【実験・観察の場合】実験・観察の結果を書く。その際、考えや解釈を入れず、“…した。”、“…であった。”というように事実だけを書く。結果を文章で書く代わりに、表またはグラフで表してもよい。

【問題解決やシステム開発の場合】問題解決法やシステムを実際に試してみた結果を書く。文章で書く代わりに、表またはグラフで表してもよい。

5. 考察 （100字程度）

【実験・観察の場合】目的に照らして、実験・観察の結果から導き出されることから考え、今後の課題などを書く。また、方法についても吟味する。

【問題解決やシステム開発の場合】目的に照らして、問題解決法やシステムの有効性や適用範囲、課題などを書く。また、方法についても吟味する。

※【問題解決やシステム開発】とは、数学や技術、複合領域などで、問題の解き方や解決方法、装置・プログラムなどを工夫・考案・開発した研究のことです。

※ 原稿用紙に書く場合は、以上の内容を横書きで書いてください。縦書きの原稿用紙を横にして横書きしてもかまいません。400字詰め原稿用紙3枚以内でまとめてください。